



新潟大学附属長岡中学校

令和6年8月30日

附中だより

第5号

教育目標「知性と品位をもち、社会を興す人となるう」

抱負を語る会 校長講話

附属長岡中学校 校長 高野 文忠

今日から1年生に1名転校生が入り、私たちの仲間になります。皆さんから声をかけてもらい、早く附属長岡中学校に慣れ、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。皆さんよろしくお願ひします。

さて、今年の夏も例年と同じく大変暑い夏です。そんな中で、夏休み中の皆さんの活躍の様子をいくつも目にしたり耳に入ったりしてきました。夏休み前に話した「あと10分だけ頑張ってみよう」と自分に負けず取り組んでいる附中生の強さを感じることができました。一人一人の日常の努力の積み重ね、これからも継続してください。

さて、夏休みにはオリンピックが開催されました。寝不足になりながら観戦した人も多かったと思います。各国の選手が見せるパフォーマンスの背後には、私たちには計り知れない日々の努力や苦悩等があったことだと思います。だからこそ観戦するだけの私たちでも感動するのだと思います。ただ、敗れた選手たちへのSNSによる誹謗中傷が問題になったことは、これから私たち自身、世界中の人が考えなければならない大きな課題です。また、オリンピックは平和の祭典とも言われます。平和については、私たち日本人はこの8月にしっかりと考える必要があると私は思っています。

私は毎年、暑い夏になると「戦争と平和」について考えます。それはこの暑い夏に日本が経験した戦争が終わった(8/15)からです。今年で79年が経ちました。太平洋戦争が終わる最後の半年間は、何の関係もない一般市民が逃げ惑う半年でした。沖縄戦、広島・長崎の原爆、そして全国66都市への空襲、長岡空襲もその一つです。沖縄のように5カ月もの長期にわたって地上戦が展開されて人命が失われたところもあれば、空襲や原爆で一夜・一瞬にして多くの人の命が奪われたところもあります。沖縄には何度か訪れましたが、サトウキビ畑やガマと呼ばれる洞窟を訪れるたびに、あの頃の沖縄の様子や人々の気持ちに思いを馳せます。なぜ沖縄の10万人もの市民が命を落とさなければならなかったのだろうと。また考えなくてはならないのは、日本は加害者としての一面もあるということです。中国への侵攻や空爆、太平洋諸国への進出。またオーストラリアにも空襲をした事実を知る人は少ないです。

日本には戦争を反省し、平和を願うために、たくさんの施設や展示物があります。それは二度と戦争を繰り返さず、平和な社会を築くことへの誓いです。「戦争はいけないことで、平和を願う気持ち」が大切なのは、日本だけでなく世界中のだれもが分かっていることです。でも戦争はなくなりません。

記憶の片隅に追いやられているかもしれませんが、ウクライナの戦争はもう3年が経ちました。私たちが忘れていてだけで、戦火の厳しい状況は何も変わっていません。ウクライナやロシアでは、たくさんの人々が苦しい日常を送っています。そして一度戦争が始まると解決のためには長い時間を要します。ウクライナの件だけでなく、現在世界中でたくさんの紛争が起きており、1億人もの人が祖国から逃れて難民となっています。

「戦争はいけないことで、平和を願う気持ち」を学校生活で当てはめると、「いじめはいけないことで、価値のある学校生活を願う気持ち」と言い換えられます。いじめはいけないことだと全校生徒は知っています。でもいじめは残念ながら、なくなっていません。いじめが起きるとその解決には時間がかかります。そして心を痛めるのは被害者だけでなく加害者もです。みなさんには心の傷を負ってほしくありません。いじめを未然に防止するために、一人一人が自分を大切にするように周りの人たちを大切にする「人権尊重の意識」を高く保ってほしいと願います。いじめのある集団からは決して豊かな心は育ちません。

今日から始まる学校生活では、たくさんの活動の中で素敵な学級や仲間との温かく深い絆を築いてほしいと思っています。そして豊かな心を育てていきましょう。附中生のそんな姿を期待しています。

第Ⅰ教育期・第Ⅱ教育期の「教育活動評価」について

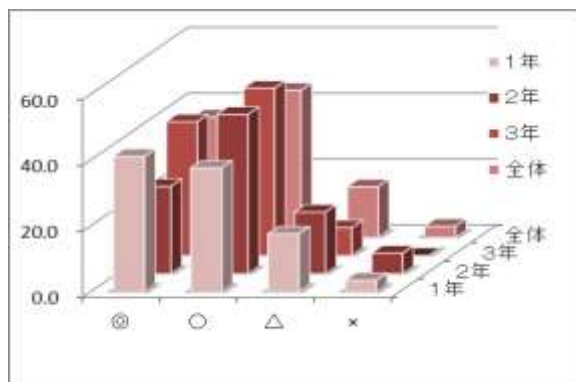
7月に実施したアンケート結果についてお知らせします。今後、結果を基に指導の充実と改善に努めていきます。

【生徒アンケートより】

項目	肯定的評価の割合
授業では「なぜだろう」と疑問をもち、課題を見つけて取り組んでいる。	93.3%
授業を通して、自分が成長していることを実感している。	92%
進路実現の目標をもち、家庭学習の時間を確保している。	79.6%
仲間とかかわり、自分の意見を交流させることで自分を高めている。	96.3%
活動や体験から、感動したり、自分の心の成長につなげたりしている。	92.3%
友達の良さを認め、協力して活動している。	97.3%
友達に対して、思いやりの心をもち、優しく接している。	96%
人の役に立つ人間になりたいと考えている。	93%
学用品等、身の回りの管理ができ、公共物を大切に扱っている。	92.6%
学校や社会のきまり、マナーを守って生活している。	97%
健康に気を配り、体調の維持に努めている。	85.3%
授業、部活動、校外活動等で体力の向上に努めている。	82.6%
自分にはよいところがあると思う。	79.3%
学習・生活、部活動等の目標を立て、粘り強く取り組んでいる。	90.3%

【保護者アンケートより】

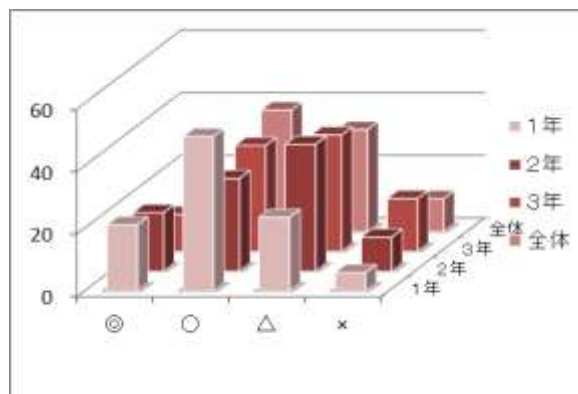
1 基本的な学習態度や学習習慣を身に付けている。



肯定的評価 82% (昨年度同時期比+2%)

マイライフを中心に、個別に家庭学習などへの励ましやアドバイスを行っている。生徒アンケートを見ると、進路の目標への意識が少し低いようなので、各学年で一層のキャリア学習の充実を図る。

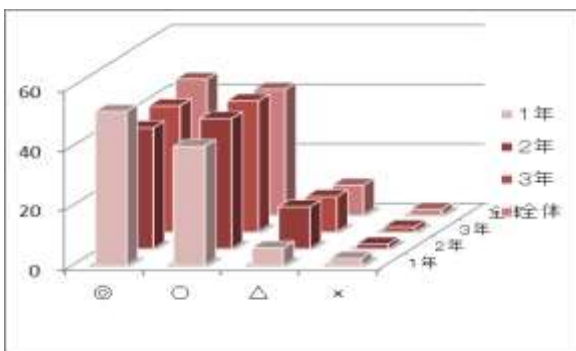
3 「ものづくり科」で学んだ事柄について、家庭でも追求したり、話題にしたりしている。



肯定的評価 57% (昨年度同時期比+12%)

各学年で特色ある活動が展開されており、その内容が保護者参観やたよりでの紹介しているため、家庭で話題になることが多かったことが考えられる。今後も活動を充実させ、積極的な発信を心掛ける。

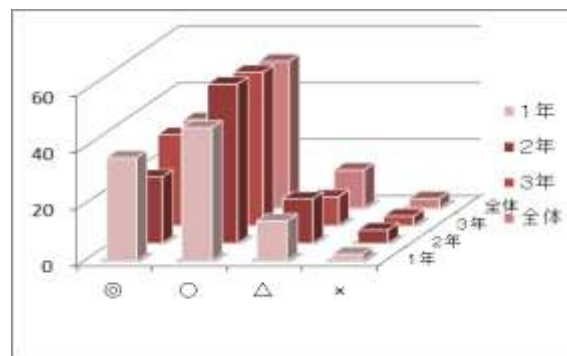
5 「自分にはよいところがある」といった自尊感情をもって生活している。



肯定的評価 88% (昨年度同時期比+5%)

授業での学び合いや、行事における協力の場面などを通して、生徒が自分の良さを実感していると感じている保護者が多く見られる。

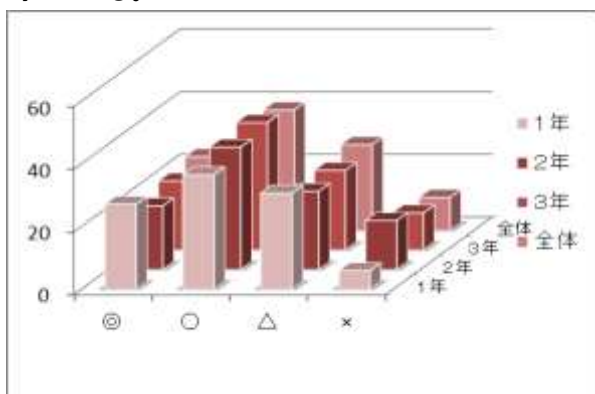
6 生活習慣の改善を図り、健やかな生活を送っている。



肯定的評価 83% (昨年度同時期比+3%)

体力不足を懸念する声や、携帯端末の使い過ぎが生活に与える悪影響を心配する声が多い。

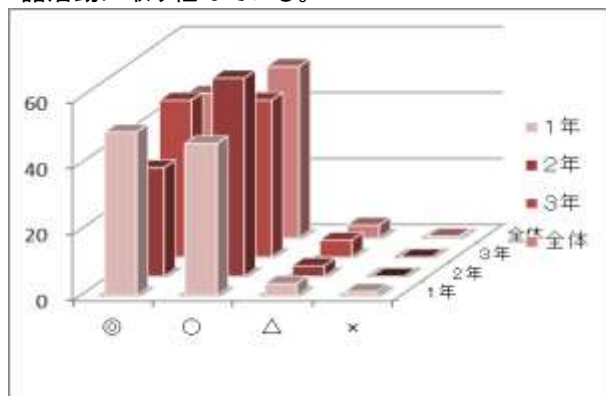
7 パソコンや携帯電話、スマートフォン等の使い方やインターネットの利用について、家庭での約束をきちんと守っている。



肯定的評価 62% (昨年度同時期比-3%)

家庭で SNS の使い方について話し合いをしているという声も聞かれる。今後も家庭と連携し、啓発を進めていく。

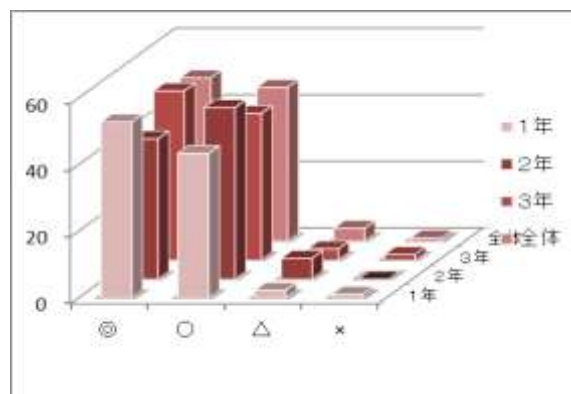
9 学校全体の雰囲気がよく、生徒が生き生きと学習や諸活動に取り組んでいる。



肯定的評価 96% (昨年度同時期比+2%)

授業や行事に取り組む子供たちの生き生きとした姿を評価する声が多く見られる。

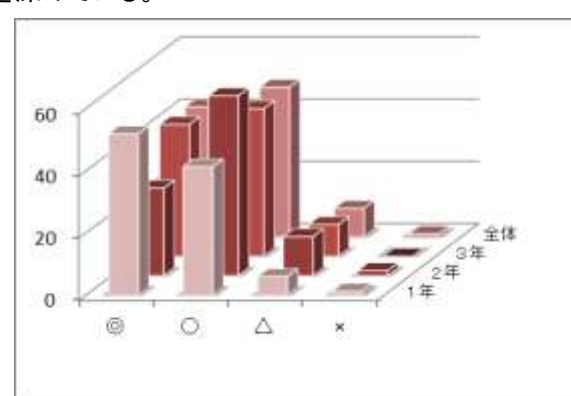
8 学校は教育方針や学校経営方針、学校の様子を保護者会や学校だより等で積極的に情報公開している。



肯定的評価 95% (昨年度同時期比+6%)

C4th による各たよりの配信を評価する声が多い。HP は現在随時更新を行っているので、是非ご覧いただきたい。

10 職員は学習指導や生徒指導を通して、生徒と関わりを深めている。



肯定的評価 90% (昨年度同時期比+2%)

生徒の充実した姿から、学校での教師のかかわり方を肯定的に評価していただいている声が多く見られる。

【保護者アンケート文章記述より】

質問・要望	回答
単元の確認のテスト結果を親がわからないことがある。5教科一覧にして成績、順位を出してほしい。	「単元の確認」の確認票を、通知表とともに配付しています。そちらでご確認ください。なお「単元の確認」はテストという位置付けではないため、順位は出していません。
学校だより等の文字数が多く、スマホから読みづらいので、スマホで読みやすい文字の大きさや文字数にしてほしい。	各たよりは紙でも配付しておりますので、そちらでご確認ください。
単元テストに対する取り組み方がよくわからないようなので、具体的な例を教えてください。	各教科担任からのアドバイスはもちろん、範囲表での「学習のポイントの明示」、学年だよりでの学習法紹介など、引き続き行っていきます。
個人のタブレットで提出する課題があるが、授業時間内に終わらず提出できないことがあるようだ。タブレットでの課題の提出方法や提出期限、使用時のルールについて子供達に周知してもらいたい。	各教科で方法を統一し、生徒に周知していきます。
今年度より学校での部活動がなくなったため、他学年との交流が持てるような活動の機会が増えるといいと思う。	生徒会を中心に、交流の企画・実施を進めています。今後全校でスポーツに親しむ企画なども行われる予定です。
来校した時の、中学生の挨拶や返事が良くない。登下校中の歩きスマホが気になる。	専門委員会で工夫をして挨拶の活性化に取り組んでおり、教員も率先した挨拶を心掛けています。登下校時のマナーについては今後も繰り返し指導していきます。

★そのほかにもこんな声をいただきました。

- ・中学校での学びを楽しみにしており、学校での出来事を毎日生き生きと話してくれる。素晴らしい先生方や周りの友達、先輩方に出会えて良かった。
- ・新しい環境やクラスメイトから良い刺激を受け、充実した毎日を過ごしているように感じる。
- ・子どもの自主性を高める活動をたくさん行って下さっているため、進んで学習やいろいろな活動に取り組もうと頑張る姿が見られる。
- ・配布物のデジタル送信を例に、迅速に改善策を講じていることに感謝している。
- ・学習は努力した結果が成績に表れる事により、次も努力する気持ちの繋がりができている。切磋琢磨しあえるクラスメイトと一緒にだからこそと思う。
- ・ITの活用や、これからの時代に適応できるような学習を受ける事ができ、充実している。
- ・ものづくり科の取組で、商店街の活性化を実際にプレゼンするのが良い経験になったと思う。

夏休み中も頑張りました！～花火清掃ボランティア～

8月2、3日にわたり開催された長岡まつり大花火大会は、全国でもトップクラスの規模を誇ると同時に、クリーンな花火大会であることでも知られています。その評判を支えている取組の1つが「花火清掃ボランティア」です。

市内の多くの中高生が参加しており、附属長岡中の有志生徒も毎年参加しています。今年度は1～3年生まで27名が参加し、ごみ拾いとブルーシートの片付けに汗を流しました。

清掃を楽しみながら、てきぱきと片付けを進める姿に、一緒に参加した教員もすがすがしさを感じましたし、改めて附中生を誇らしく思いました。参加してくれたみなさん、ありがとうございました！



各種大会・コンクール結果について

種目・大会名	結果
令和6年度 第64回 全国中学校水泳競技大会	飛込競技(女子) 高飛込 5位 3m飛板飛込 2位
令和6年度 第45回 北信越中学校総合競技大会	体操競技(女子) 跳馬 5位 段違い平行棒 7位 水泳競技(男子) 400m個人メドレー 8位
令和6年度 第55回 新潟県中学校総合体育大会	陸上競技 共通女子 100mH 7位
令和6年度 新潟県 吹奏楽コンクール	中学校Bの部 銀賞

新潟大学附属長岡中学校 〒940-8530 長岡市学校町1-1-1

Tel 0258-32-4190 Fax 0258-32-6340

Email kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp ホ-ム-ペ-ジ <http://www.nagaoka.ed.jp/>